

# バリューチェーンで見る社会的課題

日本製紙グループは、「木とともに未来を拓く」というスローガンのもと、企業グループ理念の実現を目指しています。  
 (→企業グループ理念の実現に向けて P.6)

その観点から、バリューチェーンにおけるISO26000の7つの中核主題に関する取り組みを、「経営」「森林経営・原材料調達」「環境」「お客さま」「人権と雇用・労働」「地域・社会」に関わる責任として、次の通り整理しています。

当社グループの社会的責任 ● ISO26000の中核主題 (報告書の記載ページ)	バリューチェーンにおける取り組み				
	原材料調達	生産	輸送	販売・使用	分別・回収・リサイクル・廃棄
<b>経営に関わる責任</b> ● 組織統治 ● 公正な事業慣行 (P.15~27)	● コーポレートガバナンス ● リスクマネジメント ● <b>コンプライアンスの徹底</b> ● 適切な情報開示 ● 個人情報の保護 ● <b>ステークホルダーとの対話</b> など				
<b>森林経営・原材料調達に関わる責任</b> ● 環境 (P.28~38)	● <b>持続可能な原材料調達</b> (認証材の調達推進、合法性の確認、海外植林の推進、自社林における森林認証取得、国産材の活用など) ● 自社林の保護育成				
<b>環境に関わる責任</b> ● 環境 (P.39~55)		● 環境負荷の低減 ● 環境と社会に配慮した製品の開発・生産	● 積載効率の向上 ● 輸送距離の短縮		● <b>リサイクルの推進</b>
<b>お客さまに関わる責任</b> ● 消費者課題 (P.56~64)		● 製品の安定供給 ● 品質・安全性の確保		● <b>製品の安全性向上</b> ● <b>製品の価値向上</b> ● お客さまニーズの把握 ● お客さま相談、ご意見対応	● お客さまとともに進める古紙の回収推進
<b>人権と雇用・労働に関わる責任</b> ● 人権・労働慣行 (P.65~79)	● サプライチェーンにおける人権配慮	● 人権を尊重した雇用 ● 人材の多様性確保 ● 人材育成 ● <b>労働安全衛生</b> ・防災	● 輸送時の安全確保 (交通安全の推進)		
<b>地域・社会への責任</b> ● コミュニティへの参画 およびコミュニティの発展 (P.80~86)	● 海外植林地における <b>地域社会との共生</b> ● 自社林を活かした地域・社会への貢献	● 生産拠点周辺との共生	● 輸送にともなう影響の低減		● 地域とともに進める古紙の回収推進

  : 社会的責任の観点から重要であると特定している課題

また、上記の取り組みのうち、日本製紙(株)CSR本部において、①当社グループの事業、②経済・環境・社会、③ステークホルダーの観点からインパクトが高いと考えられる課題を特定しています。それらは、「CSR報告書2020」における報告テーマとしており、「CSR報告書2020」の報告内容は、CSR本部長から経営執行会議に報告しています。

➔ CSR課題の特定について

[https://www.nipponpapergroup.com/csr/NPG\\_CSR\\_ISSUES.pdf](https://www.nipponpapergroup.com/csr/NPG_CSR_ISSUES.pdf)

